



<ニュースリリース>

2021年7月21日

報道関係者各位

IUU 漁業対策フォーラム：
世界自然保護基金ジャパン
株式会社シーフードレガシー
セイラーズフォーザシー日本支局
ザ・ネイチャー・コンサーバンシー

**水産資源の持続的な利用を推進する NGO など 5 団体が
「特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律」
に基づく輸入規制措置を講ずる対象魚種の選定に
関する共同提言を公表**

IUU 漁業対策フォーラム（世界自然保護基金ジャパン、株式会社シーフードレガシー、セイラーズフォーザシー日本支局、ザ・ネイチャー・コンサーバンシー、他）は、喫緊の国際問題である IUU（違法・無報告・無規制）漁業撲滅に必要な政策導入を求めて、「特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律」に基づく輸入規制措置を講ずる対象魚種の選定に関する共同提言書を発表しました。

国内外の規則を遵守せずに行う IUU 漁業は、水産資源の持続可能な利用や海洋生態系の保全に深刻な影響をもたらす脅威として、国際的に撲滅が求められている大きな課題です。欧州 (EU) や米国といった主要先進国が IUU 輸入規制やトレーサビリティ確保に対して積極的に取り組む中、日本においても 2020 年 12 月には特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律（以下「水産物流通適正化法」という。）が採択されました。現在はこの水産物流通適正化法の第 2 条第 4 項に規定される特定第二種水産動植物（国際的に IUU 漁業のおそれが高いため輸入規制措置の対象とする魚種）の選定と実際に導入するための詳細なルール作りが検討されています。

IUU 漁業対策フォーラム加盟団体は、日本で導入される制度が IUU 漁業の根絶と IUU 水産物の流通防止に向けてより実効性の高いものとなり、更に、我が国の水産業の成長に結びつくものとなるた

めの提案として「特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律に基づく輸入規制措置を講ずる対象魚種の選定に関する提案」を策定し、7月21日に水産庁の水産物流通適正化検討会に提出しました。

詳細は別添の共同提言書をご参照ください。

IUU 漁業対策フォーラム

IUU 漁業対策フォーラムは、持続可能な水産業への取り組みをしている以下の団体・企業が違法・無報告・無規制(IUU)漁業対策に関して共同で活動することを目的に2017年9月に発足しました。

●世界自然保護基金ジャパン

1961年にスイスで設立された地球環境保全団体です。人と自然が調和して生きられる未来を築くため、現在100カ国以上で希少な野生生物の保護や、森や海などの自然環境の保全、自然資源の持続可能な利用、地球温暖化の防止などを目指したプロジェクトを展開しています。

●株式会社シーフードレガシー

シーフードレガシーは、社会・経済・環境におけるサステナビリティを念頭に、海と人をつなぐ象徴としての水産物(シーフード)を豊かな状態で未来世代に継ぐ(レガシー)ことを目指す、ソーシャル・ベンチャーです。世界を網羅する幅広いネットワークや専門知識を活かし、国内外の水産企業、NGO、政府等と協働して、日本の水産業に適した解決策を描きます。

●セイラズフォーザシー日本支局

米国ロックフェラー財閥当主のデイビッド・ロックフェラー氏が設立したNGOの日本支局として、海洋環境保護に従事しています。水産資源の持続可能な消費を啓蒙する目的のため、天然漁の資源量が比較的豊富なシーフードをレーティングしたプログラム『ブルーシーフードガイド』を発行し、産学官と連携しています。

●ザ・ネイチャー・コンサーバンシー

動植物や地球上の生物多様性を代表する自然を、平和的、協調的アプローチによって、土壌や水質保全を通して保護することをミッションとして、1951年10月に米国で発足した非営利団体。海洋分野では、多数の国において地域の漁業者、産業、政府や学術機関と連携して安定した漁業資源の供給の促進プログラムの実施や、水産資源の保護を通じた地域経済支援等に取り組んでいます。

【 本件に関するお問い合わせ先 】

IUU 漁業対策フォーラム事務局 (株式会社シーフードレガシー内)

TEL : 03-6884-6496 FAX : 03-6884-6496

HP: <http://iuu-watch.jp/> E-mail: info@iuuwatch.jp